

第3学年 国語科 シラバス

1 教科の目標

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・情報の扱い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること	定期考査 漢字・文法テスト 語句の使い方 書写への取り組み暗唱等
II 思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと	発表 話し合い 聞き取りテスト 作文 授業での発言 ワークシートの内容 定期考査等
III 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。	授業への取り組み 提出物 授業中での課題、ワークシートへの取り組み 家庭学習への取り組み等

3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	「世界はうつくしいと」言葉の特徴や使い方に関すること 「握手」読むこと 発表・文法・書写・言語事項等
	5月	「学びて時にこれを習ふ」我が国の言語文化に関すること 「つくられた物語を超えて」読むこと 「文章の形態を選んで書く」書くこと 発表・文法・書写・言語事項等
	6月	「小論文を書くこと」書くこと 「言葉の釣り糸を垂らす」読むこと 「俳句の可能性」我が国の言語文化に関すること 発表・文法・書写・言語事項等
	7月	「挨拶」読むこと 発表・文法・書写・言語事項等
二学期	9月	「故郷」読むこと 「論理の展開を整える」書くこと 発表・文法・書写・言語事項等
	10月	「聞き上手になろう」話すこと・聞くこと 「人工知能との未来」読むこと 「合意形成に向けて」話すこと・聞くこと 発表・文法・書写・言語事項等
	11月	「君待つと」我が国の言語文化に関すること 「誰かの代わりに」読むこと 発表・文法・書写・言語事項等
	12月	「情報を読み取って書く」情報の扱い方 発表・文法・書写・言語事項等
三学期	1月	「夏草」我が国の言語文化に関すること 「温かいスープ」読むこと 発表・文法・書写・言語事項等
	2月	「それでも言葉を」読むこと 発表・文法・書写・言語事項等
	3月	一年間の振り返り

4 学習のポイント

1. A. B. C の基準
I 知識・技能
A 漢字、文法、書写等の活動において、目標の8割以上達成できている。
B 漢字、文法、書写等の活動において、目標の5割以上達成できている。
C 漢字、文法、書写等の活動において、目標の5割以上達成できていない。
II 思考・判断・表現
A 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の8割以上達成できている。
B 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の5割以上達成できている。
C 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の5割以上達成できていない。
III 主体的に学習に取り組む態度
A 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、8割以上達成できている。
B 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、5割以上達成できている。
C 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、5割以上達成できていない。
2. 学習を進めていく上でのポイント
①自分の意見や考えを持って発言することけじめをつけること。②粘り強く学習を継続すること。

